



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

2025年12月12日

環境大臣
石原 宏高 殿

加山興業株式会社
代表取締役 加山 順一郎

加山興業株式会社は、「緑あふれるクリーンな日常を世界に」を
ビジョンに掲げ、産業廃棄物の適正処理・リサイクルをはじめ、
環境課題解決への取り組みを推進していきます。

《資源を生かし、CO₂を減らす「クリーンな廃棄物処理」を実現》

- 廃棄物の入荷量/リサイクル率を毎年モニタリングし、それぞれ2030年までに92,055t/90%の目標達成に向けて邁進していきます。
- 今後大量廃棄が見込まれる廃棄太陽光パネルのリサイクル設備を導入し、廃棄問題の解決に貢献していきます。
- AI搭載の廃棄物選別ロボットを導入し、多種多様な廃棄物を高精度に識別できる仕組みを構築しています。2030年までに搬入される廃棄物のリサイクル率90%を目指していきます。
- 「使用済み紙おむつの再生利用プロジェクト」を始動し、官民連携体制による広域的なプロジェクト普及に取り組んでいます。おむつ分別装置を用いてプラスチック類とパルプに分別処理を行い、各資源化素材の状況を確認し、副産物の資源化、事業化の検討を推進していきます。
- マルチステークホルダーと連携した処理困難物の適正処理及びリサイクル技術の研究開発を推進していきます。





エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

《次世代を担う子どもたちへ、環境教育を届け続ける》

- 出張環境授業・リサイクル工場見学の受入を2012年より継続し、受益者数累計8,871名を達成しています。(2025年8月時点) 2030年には累計200件を目指し、活動を継続していきます。

《多様なパートナーと共に、2050年のカーボンニュートラルを達成する》

- サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量を公開しており、Scope1：2035年の二酸化炭素排出量について2025年比で42%削減、Scope2：排出量ゼロ達成維持、Scope3：固有値計算を隨時行っています。
- 再エネ電力100%利用、CO2排出係数の低い燃料への切り替え等を行い、廃棄物処理にかかるCO2排出量を削減しています。また、脱炭素経営構築に向けた可視化・削減支援を広めることで、自社だけでなくステークホルダーの脱炭素推進にも貢献していきます。

《人間と生き物がつながる「KAYAMA NATURE BASE」の構築を推進する》

- 自然資本の保全概念をマテリアリティとして経営指標に位置付けています。自然回復を目指す拠点である「KAYAMA NATURE BASE」にはKAYAMAファーム、千両の里山、Re:farmが含まれます。自然と触れ合い、探求できる環境学習フィールドを目指し、構築を推進していきます。
- KAYAMAファームでは、みつばちを約20,000匹(2025年8月時点)飼育しています。周辺地域に対して環境負荷がかかっているかどうか、みつばちを通してモニタリングしていきます。
- 千両の里山では、約1.5haの鬱蒼とした森を整備し、明るい森への再編を図っています。自然観察会や森の動植物を活用したワークショップの開催などを行ってきます。
- Re:farmでは、耕作放棄地の再興を目指しています。化学肥料を使用しない、持続可能な農業を推進していきます。

